

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1471100139
法人名	社会福祉法人 百鷗
事業所名	グループホーム 葉山の里
訪問調査日	令和3年11月25日
評価確定日	令和3年11月30日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
 外部評価は20項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [次ステップに向けて期待したい内容]  
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和3年度

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471100139	事業の開始年月日	平成15年12月1日	
		指定年月日	平成15年12月1日	
法人名	社会福祉法人 百鷗			
事業所名	グループホーム 葉山の里			
所在地	( 240-0113 )			
	神奈川県三浦郡葉山町長柄253-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	令和3年11月14日	評価結果 市町村受理日	令和3年12月10日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の方が、ご家庭と同様な生活を出れるように出来る限りの支援を行うと共に、自由な雰囲気と安心できる家庭的な環境があります。コロナ禍の中であっても新しい生活様式を遵守し、生活に潤いの持てるよう、散歩や貯筋運動等の活動を行っております。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和3年11月25日	評価機関 評価決定日	令和3年11月30日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は社会福祉法人百鷗の同法人は葉山町と逗子市内で特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス・居宅介護支援事業所・グループホームを運営しています。特別養護老人ホーム内にショートステイ・デイサービス・居宅介護支援事業所を併設し、地域の高齢者の暮らしを様々な形で支援しています。法人では「地域とのふれあいととも、やさしく、あたたかい、福祉へ」をモットーとして地域、利用者の方々に信頼される最良のサービスの提供を目指しています。ここ「グループホーム葉山の里」はJR逗子駅からバスで10分程、「長柄橋」下車して徒歩2分程の住宅街の中にあり、近くには、鎌倉時代初期の武士である長江太郎義景が、主君三浦大介の指示で藤沢市宮前の同名神社を勧請して、鎌倉景政の御霊を祀ったといわれている御霊神社や、厄除けで有名な不動尊長運寺もあり、山々に囲まれた、風光明媚な環境下にあります。

●新型コロナウイルスの蔓延が長期化に伴い、外出支援が思うようにできない状況下において、事業所では筋力低下防止のための取り組みに注力しています。コロナ禍以前から行っていた「貯筋体操」に加え、事業所内の階段を活用した運動、バリエーションや様々な部位の筋力低下を防止するために、バリエーションの多い健康体操を新たに取り入れました。新しく取り入れた体操は「誤嚥予防・転倒予防・バランス力の向上・音楽に合わせての柔軟性の向上・体力の向上・体幹機能の向上」など多岐に亘るラインナップと予防防止につながる効果があり、毎日職員が先導して行っています。また、訪問医の主治医に相談し、十分な感染症対策を講じたうえで近隣散歩を取り入れ、気分転換につなげています。

●現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインに基づき、面会制限、室内の換気やアルコール消毒など様々な感染防止策を講じながら体調管理を徹底して行っていますが、今後、感染状況や社会情勢を考慮しながら、少しずつ地域交流、家族との関わり、外出支援を再開して、心身の維持向上を図りながら社会性を取り戻せるようにしていきたいと考えています。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム葉山の里
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			○ 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			○ 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			○ 3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を玄関と事務所に掲示しています。今年度は「利用者・社会への基本姿勢、職員の働きやすい環境作りと人材育成、将来に亘った安定経営への基本姿勢」を事業計画としております。	玄関と事務所に法人理念を掲示し、日頃から職員の目に留まるようにしています。また、年度毎に事業計画を作成し、事業計画に基づき事業所運営が行えるよう取り組んでいます。今年度の事業計画は「利用者・社会への基本姿勢、職員の働きやすい環境作りと人材育成、将来に亘った安定経営への基本姿勢」としています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	長柄下町内会に加入。新型コロナウイルス予防の為、昨年度に続き本年度も活動参加は自粛しました。活動再開を楽しみに、「貯筋体操」が継続できるように、葉山町担当職員の方に相談し、DVDを購入しホーム内で活動しています。	長柄した町内会に加入していますが、新型コロナウイルスの蔓延化が長期化しているため、今年度も継続して町内行事をはじめ、地域との交流は自粛しています。コロナ禍となる以前までは地域の方と「貯筋体操」を行っていましたが、中止となっている関係で、DVDを購入し事業所内で「貯筋体操」を継続し、下肢筋力低下防止に努めています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルス予防の為、昨年度に続き本年度も活動参加は自粛しました。活動再開を見据え、ホーム内で認知症の研修を行いました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4ヶ月に1回実施しています。開催方法に関しては、新型コロナウイルス予防の為、書面での回議を中心としました。入居者状況・活動状況・人事・研修・防災訓練等について報告しています。	運営推進会議は4ヶ月に1回の開催となっています。現在は感染予防防止対策として書面での開催となっていますが、日頃参加いただいている方々に事業所の現状や活動報告を取りまとめたのを郵送し、意見や提案があれば返信または電話でいただくようになっています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	葉山町の高齢福祉課の職員に毎回運営推進会議に参加して頂いております。葉山町のグループホームは本法人の「葉山の里」と「びやくしの苑」の2事業所ということもあり、葉山町役場とは密に情報交換を行っています。	葉山町にあるグループホームは同法人が運営している事業所しかないことから、葉山町高齢福祉課の担当者とは情報交換や連絡を密に取り合いながら相互に協力しあいながら、葉山町の認知症高齢者を支えています。研修や講習会の案内が届いた際には、参加するよう心がけています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修を行い身体拘束に対する理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。以前階段で転倒事故があったため、階段口に鍵付きの柵を設置しております。また玄関については車両の往来が多く、また防犯上の観点から施錠しております。	年間研修において身体拘束について年1回以上学ぶ機会を設け、身体拘束に該当する行為や声かけなどについて理解を深めています。また、会議やミーティングでも日常ケアや声掛けについて話し合うとともに振り返り、共通認識を図ることで身体拘束のないケアに取り組んでいます。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が見過ごされないよう会議やミーティング等を利用して職員全員で学ぶ機会を持ち虐待防止に努めています。	高齢者虐待防止についても身体拘束と併せて研修を行い、どのような行為が虐待に該当するか理解を深めています。また、虐待の種類やケアの中で虐待に該当する対応がされていないか、会議やミーティングで確認し合い、共通認識を図りながら虐待防止に努めています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	一昨年度近隣自治体の市民成年後見人制度についての研修に参加しました。また成年後見人制度のパンフレットを設置しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様やご家族様に説明を行い理解、納得していただいています。また現時点での不安や希望を伺い、取り組み方の確認を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族との電話連絡時や面会時、また運営推進会議の際に意見や要望を伺っております。毎月報告書と写真を郵送し、利用者様のご様子をご家族にお伝えしています。外注食に関しては、ご希望を伺うようにしております。	契約時に重要事項説明書に明記している苦情相談窓口について説明しています。家族からの意見や要望は家族の来訪時や電話連絡した際に、近況報告と合わせて伺うようにしています。利用者からの意見や要望については、日頃からコミュニケーションを図り、可能な範囲で反映させるよう努めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット毎に食事・行事・環境係を設け、意見を聞いております。日頃の業務の中や休憩時間、朝・夕の申し送り時等でも管理者が職員の意見を聞き、運営・業務に反映させるよう努めております。	管理者は職員の出退勤時、業務や休憩時間の合間などの時間でも職員から意見や提案を聴くなどして、働きやすい環境づくりに努めています。ユニット毎に食事・行事・環境係を設け、担当職員を中心に意見や提案を反映させています。会議や申し送り時にも職員からケアや業務に関する意見を聞き、業務やケアに反映させるよう努めています。	今後の継続	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課の実施や、職員と積極的に会話をしたり和やかな雰囲気作りを心がけ、働きやすい職場環境に努めています。	人事考課を取り入れ、管理者は職員の日々の業務・勤務姿勢・能力を基に面談を実施し、面談結果を法人に報告しています。また、日頃から積極的に職員に話しかけたり、話を聞きくことで和やかな雰囲気作りを心掛けています。	今後の継続	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新型コロナウイルス予防の為、外部の研修に関しては受講を控え、内部研修を定期的に行いました。	職員の入職時には理念・ケア方針をはじめ介護技術から法令遵守に至るまで教育が行われ、現場でも期間を定めたOJTを行い利用者の情報や業務の流れについて研修を行っています。今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から外部研修への参加は控え、事業所内で定期的な内部研修を実施し、職員の資質向上につなげています。	今後の継続	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者と交流する機会を作っております。新型コロナウイルス予防の為、接触機会を避け、電話やメールでコミュニケーションを図っております。			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様やご家族様の希望を出来る限り聞きだす努力をし、確保する為の関係に努めています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安や困っている事、要望などを気軽に話して頂けるような雰囲気作りや環境整備に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様、ご家族様と良く話し合い、必要とする支援を見極め対応するように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	散歩などの時間を共有しながら暮らしを共にする関係を築いています。また洗濯物たたみや掃除を手伝っていただいております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様とご家族様の絆を大切にしながら共にご利用者様の希望を聞きながら支えていく関係を築くよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣地域に住んでいた方の入居が多く、友人と手紙や電話でやり取りをしながら、馴染みの関係を継続されている方もいらっしゃいます。	契約時に、差し支えない程度に友人や知人に入居したことを伝えてくださいと声かけし、馴染みの関係が途切れないよう支援しています。また、入居時のアセスメントで、本人にとって馴染みの場所や人、趣向などの情報の把握に努め、馴染みの場所にお連れしたり、趣向を継続できるよう支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事席の調整や、小人数でのレクリエーションや行事に取り組んでいます。毎日が楽しく暮らして頂けるようなレクリエーションや雰囲気作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も、不安などないか確認の為に、電話連絡を行っております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントや生活歴、日頃の表情や仕草から、「何に興味を持たれているのか」「何を楽しまれているのか」等、思いや意向の汲み取る事に努めています。また、散歩や入浴時等、1対1の場面で聞かれた情報を職員間で共有し、意向を反映させるよう取り組んでおります。	入居前面談で過去の生活歴・既往歴・趣味嗜好などに関する情報を本人・家族・在宅時のケアマネージャから聞き取り、アセスメントシートを作成しています。入居後は得られた情報を基に関わりながら現在の思いや意向の把握に努めています。得られた情報は職員間で共有し、思いや意向に沿えるよう努めています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様やご家族様からよく話を聞き、生活しやすい環境を整えるように努めています。家具や食器等、極力今まで使用していたものをお持ちいただき使用しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人のペースで過ごして頂いています。日々の生活を通し（レクリエーション等）で利用者の現状把握に努めています。体調管理の為、午睡時間を設けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居間もない方に関しては、些細な事でも気が付いたことをメモに残し、意向や行動等を把握するよう努めております。	入居時のアセスメントで得られた情報を基に初回の介護計画を作成し、暫くの間経過を観察しながら、生活の様子や心身の情報収集に努めています。その後は、ミーティングや必要時検討会議などで得られた情報や職員ごとの気づきを共有しながら現状に即した介護計画を作成しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ミーティング、必要時検討会議等で情報を共有しながら現状に即した介護計画の実践や見直しに生かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	筋力低下を気にしている方に、個別で筋力アップ運動の実施や散歩、また下肢に浮腫みがみられる方に足の運動を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	例年、地域の方々とのふれあいを大切にしてふれあいサロンや貯筋運動、福祉まつりの参加や買い物に出掛けたりして楽しみのある生活が出来るよう支援していましたが、今年度は新型コロナウイルス予防の為、参加等見合わせております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	半数以上の方が、入居前からのかかりつけ医の往診を継続されています。通院はご家族の付き添いを基本としていますが、状況に応じて職員がお連れすることもあります。歯科医は週に一度来診がございます。	入居時に、事業所の協力医療機関について説明し、本人と家族の希望を尊重して主治医を決めていただくようにしています。入居前からのかかりつけ医を主治医としている方は、かかりつけ医の受診を継続しています。歯科医は週1回訪問があり、義歯調整や治療、口腔ケアをお願いしています。また、看護師も週1回来ており、利用者の適切な健康管理が行われています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の生活の中での体調を出来る限り細分化して看護師に相談し、状況によっては申し送りノートを活用することで、適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーの提出や、看護師・相談員との情報交換を密に行い、早期の退院に向けての受け入れ態勢や治療方針を検討している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期ケアについて、事業所のできることで、出来ないことについて説明し、同意書を交わしています。重度化の際には、改めて医師、家族、管理者による話し合いの場を設け、方針について確認。看取りを行う際は、家族の意向に沿った支援が出来るように、医療機関と協力しております。	契約時に終末期ケアについて事業所のできることで出来ないことについて説明し、同意書を取り交わしています。その後、状態の変化に応じて医師・家族・管理者による話し合いの合を設け、今後の方針について確認すると共に、方針を共有しながら、家族の意向に沿った支援ができるよう、医療機関と協力しながら支援を行っています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故防止に配慮し、内部研修、日々のミーティング時により急変を回避できるように話し合いをしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に防災訓練を実施。火災自動通報装置等設置されており、業者による防災設備点検も実施。また備蓄品として、食料、水、衛生用品、懐中電灯等も確保。例年地域の方にも訓練参加をして頂いておりましたが感染症予防の観点から今年度は見合わせております。	年2回、火災・地震を想定した防災訓練を実施しています。コロナ禍以前までは地域の方にも参加していただき、見守りをお願いするとともに災害時の協力についても呼びかけを行っていましたが、現在は感染防止の観点から地域の方への参加は見合わせています。防災設備点検時には、防災機器の取り扱いについて指導を受けています。備蓄品は食料、飲料水、衛生用品、懐中電灯なども準備しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人の新任研修でマナー・接遇・個人情報・権利擁護の研修を実施しています。職員は利用者一人一人の人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉遣いや対応を心掛けています。対応に改善を要する場合には、職員や管理者が指導しています。	入職時研修や入職後も定期的な研修を行うとともに、申し送り会議などで、接遇・マナー・倫理について話し合う機会も設けています。利用者一人ひとりの人格や個性を尊重し、尊厳や自尊心を傷つけることのないよう、言動や対応に十分留意しています。また、個人情報や守秘義務についても周知徹底しています。居室への入室、排泄支援を行う際にはプライバシーや羞恥心に配慮して対応しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションでは内容や参加、食事に関しては定期的に外注食を行い、好きな物を選んでいただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間など、ある程度時間の目安設定はございますが、その中で安全・体調面を考慮しながらご本人のペースで過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が着たい衣類や季節に合ったものを選んで頂きます。その人らしい身だしなみやおしゃれを楽しんでいただけるよう、ご家族に衣類をお持ちいただいたり、希望のものを職員が購入のサポートしております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や歳時に合わせた内容や定期的にご利用様の好みに合った料理を提供しています。	食事はレシピ付きで業者から発注し、職員が調理しています。できる方には食事の下ごしらえなどの準備や片付けに関わっていただくようにして、残存能力の維持につなげています。季節や歳時に合わせた食事を提供するなど、食事を楽しんでいただけるように支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日2回の申し送りにて、一人ひとりの体調を把握し、栄養面、食事摂取量、水分量などに気を配り支援しています。状況により補食や水分を摂ってもらえない方にはゼリーや水分補給用ドリンクを提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い口腔内の清潔を維持しています。個々の状況に応じた口腔ケアを行い嚥下体操等も実施しています。希望者には週に一度歯科往診にて口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら利用者の排泄状況の把握に努め、利用者の様子を観ながら声掛け誘導を行っています。リハビリ用パンツやパッドを使用しながら、トイレでの排泄が出来るよう支援しています。夜間は個々の体調や排泄状況に応じて声掛けを行っています。	排泄チェック表を用いて、一人ひとりの排泄状況の把握し、時間やタイミングを見計らった声かけによるトイレ誘導で、排泄の自立に向けた支援を心がけています。失敗を減らせるよう、カンファレンスやモニタリングで支援方法を検討しながら支援を行っています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の野菜や海草等をメニューに取り入れれたり水分摂取量が少なくなならないよう気を付けています。便秘予防として階段運動や体操等を取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回を基本として、午前中に入浴を行っています。入浴拒否のある方には時間をおいて声掛けしたり職員を変えて対応しています。柚子湯や菖蒲湯、入浴剤を利用し、リラックスして入浴できるよう支援しています。	週2回の入浴を目安としていますが、入浴日や時間は本人の希望を尊重しながら柔軟に対応しています。安全安心に入浴していただくため、入浴前にはバイタルチェックと本人の希望を確認したうえで入浴を促すようにしています。時には入浴剤や季節のお風呂などで気分を変えて入浴していただくようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は利用者様、又は体調によっては早く休まれる時もあります。安心して休めるように室温や空気の入れ替え等に心がけています。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	連絡ノート、申し送りや会議等で職員全員で把握しています。服薬時は複数の職員で確認し支援しています。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の興味のある活動をして過ごせるような環境づくりを行っています。			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス予防の為、観光地等への外出を控えました。 医師に相談をし近隣の散歩に関しては、新しい生活様式を守り行いました。	事業所は自然豊かな山々に囲まれ、ハイキングコース、歴史的な観光名所等も点在する、風光明媚な環境にあることから、天気や気候の良い日には事業所周辺を散歩したり、近くのコンビニまで買い物にお連れすることもあります。また、地域の「貯筋体操」への参加も外出の一環としてお連れしていましたが、現在はコロナ禍のため、季節の外出行事と同様に外出は控えています。		今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人のの能力に応じて所持や希望の聞き取りを行い、買い物支援を行いました。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お友達や家族、親戚の方から電話がかかってくる、かけたりされています。手紙や葉書のやり取りをされている利用者様もいらっしゃいます。またICTを活用したオンライン面会も行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室とフロアに湿度・温度計を設置し、体感だけではなく数字でも確認しながら、適度な温度・湿度の管理をしています。リビングの壁には季節毎に利用者様と一緒に作った作品を飾り、玄関や階段、廊下やフロアには作品や小物を飾っています。	共有空間は皆が集まって過ごす場所でもあることから、整理整頓を心掛け、室温や採光なども職員によって適切に管理されています。壁にはレクで作成した季節毎の作品やカレンダーを飾っています。また、玄関や階段にも利用者が作成したタペストリーや小物を飾っています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたい時は自由にお部屋に戻られ一人の時間を大切にされています。又お話されたい方のテーブルに行かれ会話等楽しまれております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時の生活環境の変化から、入居者様が不安や混乱を招くことのないように、使い慣れた家具や調度品を持ち込んでいただいております。鏡台、仏壇、写真を持ち込まれている方もいらっしゃいます。居室内の整理・清掃は利用者様と一緒にしながら、清潔な空間を保持しています。	各居室にはエアコンとクローゼット、洗面台と鏡が完備されています。自宅の生活の延長として暮らしを継続していただけるよう、使い慣れた家具や思い出の品を持ち込んでいただくことを勧めています。人によって様々な物が持ち込まれ、個性を尊重した居室づくりがされています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全で安心できる環境づくりを心がけ目の高さにお知らせメッセージを張ったり問いかけにすぐ対応できるように努力しながらなるべく自立した生活が遅れるような支援に努めています。		

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム葉山の里

作成日 令和3年11月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	新型コロナウイルス予防の為、日常的な外出支援を自粛している。	新しい生活様式に沿った外出支援を行う。	新しい生活様式に沿った外出支援を行う際の衛生用品確保、ご利用者様への理解の浸透。	1年
2	29	新型コロナウイルス予防の為、地域資源との協働を自粛している。	新しい生活様式に沿った地域資源との協働を行う。	地域資源の確認を行う。また求められている事を確認する。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム葉山の里
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			○ 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			○ 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			○ 3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を玄関と事務所に掲示しています。今年度は「利用者・社会への基本姿勢、職員の働きやすい環境作りと人材育成、将来に亘った安定経営への基本姿勢」を事業計画としております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	長柄下町内会に加入。新型コロナウイルス予防の為、昨年度に続き本年度も活動参加は自粛しました。活動再開を楽しみに、「貯筋体操」が継続できるように、葉山町担当職員の方に相談し、DVDを購入しホーム内で活動しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルス予防の為、昨年度に続き本年度も活動参加は自粛しました。活動再開を見据え、ホーム内で認知症の研修を行いました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4ヶ月に1回実施しています。開催方法に関しては、新型コロナウイルス予防の為、書面での回議を中心としました。入居者状況・活動状況・人事・研修・防災訓練等について報告しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	葉山町の高齢福祉課の職員に毎回運営推進会議に参加して頂いております。葉山町のグループホームは本法人の「葉山の里」と「びやくしんの苑」の2事業所ということもあり、葉山町役場とは密に情報交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修を行い身体拘束に対する理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。以前階段で転倒事故があったため、階段口に鍵付きの柵を設置しております。また玄関については車両の往来が多く、また防犯上の観点から施錠しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が見過ごされないよう会議やミーティング等を利用して職員全員で学ぶ機会を持ち虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	一昨年度近隣自治体の市民成年後見人制度についての研修に参加しました。また成年後見人制度のパンフレットを設置しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様やご家族様に説明を行い理解、納得していただいています。また現時点での不安や希望を伺い、取り組み方の確認を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族との電話連絡時や面会時、また運営推進会議の際に意見や要望を伺っております。毎月報告書と写真を郵送し、利用者様のご様子をご家族にお伝えしています。外注食に関しては、ご希望を伺うようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット毎に食事・行事・環境係を設け、意見を聞いております。日頃の業務の中や休憩時間、朝・夕の申し送り時等でも管理者が職員の意見を聞き、運営・業務に反映させるよう努めております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課の実施や、職員と積極的に会話をしたり和やかな雰囲気作りを心がけ、働きやすい職場環境に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新型コロナウイルス予防の為、外部の研修に関しては受講を控え、内部研修を定期的に行いました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者と交流する機会を作っております。新型コロナウイルス予防の為、接触機会を避け、電話やメールでコミュニケーションを図っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様やご家族様の希望を出来る限り聞きだす努力をし、確保する為の関係に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安や困っている事、要望などを気軽に話して頂けるような雰囲気作りや環境整備に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様、ご家族様と良く話し合い、必要とする支援を見極め対応するように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	散歩などの時間を共有しながら暮らしを共にする関係を築いています。また洗濯物たたみや掃除を手伝っていただいております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様とご家族様の絆を大切にしながら共にご利用者様の希望を聞きながら支えていく関係を築くよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣地域に住んでいた方の入居が多く、友人と手紙や電話でやり取りをしながら、馴染みの関係を継続されている方もいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事席の調整や、小人数でのレクリエーションや行事に取り組んでいます。毎日が楽しく暮らして頂けるようなレクリエーションや雰囲気作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も、不安などないか確認の為に、電話連絡を行っております。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントや生活歴、日頃の表情や仕草から、「何に興味を持たれているのか」「何を楽しまれているのか」等、思いや意向の汲み取る事に努めています。また、散歩や入浴時等、1対1の場面で聞かれた情報を職員間で共有し、意向を反映させるよう取り組んでおります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様やご家族様からよく話を聞き、生活しやすい環境を整えるように努めています。家具や食器等、極力今まで使用していたものをお持ちいただき使用しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人のペースで過ごして頂いています。日々の生活を通し（レクリエーション等）で利用者の現状把握に努めています。体調管理の為、午睡時間を設けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居間もない方に関しては、些細な事でも気が付いたことをメモに残し、意向や行動等を把握するよう努めております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ミーティング、必要時検討会議等で情報を共有しながら現状に即した介護計画の実践や見直しに生かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	筋力低下を気にしている方に、個別で筋力アップ運動の実施や散歩、また下肢に浮腫みがみられる方に足の運動を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	例年、地域の方々とのふれあいを大切にしてふれあいサロンや貯筋運動、福祉まつりの参加や買い物に出掛けたりして楽しみのある生活が出来るよう支援していましたが、今年度は新型コロナウイルス予防の為、参加等見合わせております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	半数以上の方が、入居前からのかかりつけ医の往診を継続されています。通院はご家族の付き添いを基本としていますが、状況に応じて職員がお連れすることもあります。歯科医は週に一度来診がございます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の生活の中での体調を出来る限り細分化して看護師に相談し、状況によっては申し送りノートを活用することで、適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーの提出や、看護師・相談員との情報交換を密に行い、早期の退院に向けての受け入れ態勢や治療方針を検討している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期ケアについて、事業所で出来ること、出来ないことについて説明し、同意書を交わしています。重度化の際には、改めて医師、家族、管理者による話し合いの場を設け、方針について確認。看取りを行う際は、家族の意向に沿った支援が出来るように、医療機関と協力しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故防止に配慮し、内部研修、日々のミーティング時により急変を回避できるように話し合いをしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に防災訓練を実施。火災自動通報装置等設置されており、業者による防災設備点検も実施。また備蓄品として、食料、水、衛生用品、懐中電灯等も確保。例年地域の方にも訓練参加をして頂いておりましたが感染症予防の観点から今年度は見合わせております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人の新任研修でマナー・接遇・個人情報・権利擁護の研修を実施しています。職員は利用者一人一人の人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉遣いや対応を心掛けています。対応に改善を要する場合には、職員や管理者が指導しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションでは内容や参加、食事に関しては定期的に外注食を行い、好きな物を選んでいただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間など、ある程度時間の目安設定はございますが、その中で安全・体調面を考慮しながらご本人のペースで過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が着たい衣類や季節に合ったものを選んでいきます。その人らしい身だしなみやおしゃれを楽しんでいただけるよう、ご家族に衣類をお持ちいただいたり、希望のものを職員が購入のサポートをしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や歳時に合わせた内容や定期的にご利用者の好みに合った料理を提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日2回の申し送りにて、一人ひとりの体調を把握し、栄養面、食事摂取量、水分量などに気を配り支援しています。状況により補食や水分を摂ってもらえない方にはゼリーや水分補給用ドリンクを提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い口腔内の清潔を維持しています。個々の状況に応じた口腔ケアを行い嚥下体操等も実施しています。希望者には週に一度歯科往診にて口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら利用者の排泄状況の把握に努め、利用者の様子を観ながら声掛け誘導を行っています。リハビリ用パンツやパッドを使用しながら、トイレでの排泄が出来るよう支援しています。夜間は個々の体調や排泄状況に応じて声掛けを行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の野菜や海草等をメニューに取り入れたり水分摂取量が少なくならないよう気を付けています。便秘予防として階段運動や体操等を取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回を基本として、午前中に入浴を行っています。入浴拒否のある方には時間をおいて声掛けしたり職員を変えて対応しています。柚子湯や菖蒲湯、入浴剤を利用し、リラックスして入浴できるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は利用者様、又は体調によっては早く休まれる時もあります。安心して休めるように室温や空気の入れ替え等に心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	連絡ノート、申し送りや会議等で職員全員で把握しています。服薬時は複数の職員で確認し支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の興味のある活動をして過ごせるような環境づくりを行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス予防の為、観光地等への外出を控えました。 医師に相談をし近隣の散歩に関しては、新しい生活様式を守り行いました。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人のの能力に応じて所持や希望の聞き取りを行い、買い物支援を行いました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お友達や家族、親戚の方から電話がかかってきたり、かけたりされています。手紙や葉書のやり取りをされている利用者様もいらっしゃいます。またICTを活用したオンライン面会も行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室とフロアに湿度・温度計を設置し、体感だけではなく数字でも確認しながら、適度な温度・湿度の管理をしています。リビングの壁には季節毎に利用者様と一緒に作った作品を飾り、玄関や階段、廊下やフロアには作品や小物を飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたい時は自由にお部屋に戻られ一人の時間を大切にされています。又お話されたい方のテーブルに行かれ会話等楽しまれております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時の生活環境の変化から、入居者様が不安や混乱を招くことのないように、使い慣れた家具や調度品を持ち込んでいただいております。鏡台、仏壇、写真を持ち込まれている方もいらっしゃいます。居室内の整理・清掃は利用者様と一緒にしながら、清潔な空間を保持しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全で安心できる環境づくりを心がけ目の高さにお知らせメッセージを張ったり問いかけにすぐ対応できるように努力しながらなるべく自立した生活が遅れるような支援に努めています。		

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム葉山の里

作成日 令和3年11月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	新型コロナウイルス予防の為、日常的な外出支援を自粛している。	新しい生活様式に沿った外出支援を行う。	新しい生活様式に沿った外出支援を行う際の衛生用品確保、ご利用者様への理解の浸透。	1年
2	29	新型コロナウイルス予防の為、地域資源との協働を自粛している。	新しい生活様式に沿った地域資源との協働を行う。	地域資源の確認を行う。また求められている事を確認する。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。